

NO. 2337

小塩山～ポンポン山

2012年 10月20日 (土) 晴れ

参加者 片山夫婦、中橋、榊谷(L) 宮本(記)

今日は爽やかなハイキング日和の良いお天気です。

阪急駅に全員集合京都行き7時53分に乗り込む東向日駅8時31分に到着9時15分発のゆったりしたバスに乗り南春日バス停に9時30分到着です。

竹林の中程にある道標小塩山、右の矢印を見て歩進めるが(L)から左の支持小さな道標の下にどちらでもよいと記されていた、右の方向に進めばアスファルト道と花の寺勝持寺の参道を通り小塩山へ左の道を進み手入れされた静かな竹林の細い道を進みます。春の筍の季節はにぎやかでしょう？ 歩を進めて行くと大きな開発工事が進められている、「帰り警備員さんに聞くと亀岡に抜ける高速道路工事との事」やっと山道になり雑木林が多くなり歩きやすい道を進む、時々急になり登り坂が続き、汗をかけた身体に爽やかな風が優しくなでていきます。誰一人ハイカーに出会いません静かな山歩きです。少し薄暗い植林地に入って金蔵寺の分岐(11, 8分)を左に見送るこの分岐で親子4人家族に出会う、右の淳和天王陵は登りが続き車道を何度か横切り歩を進めると通信アンテナの前に出る(11時34分)淳和天王陵左へ進み小塩山山頂(642m)三角点をタッチして、天王陵の前の車道に戻り通信アンテナの前で楽しい昼食にしました。(11時50分～12時30分)元来た道を分岐迄下り金蔵寺へ向かう(12時52分)に愛宕権現堂の脇に着く(江戸時代になってあの大奥で有名な綱吉の実母桂昌院の寄進で再建されたと言う話です。)紅葉は未だ早く断念です。もみじの綺麗な金蔵寺の階段を下りて山門をくぐりルートを変更してポンポン山へ向かいます。東海自然歩道に入るしばらく進むと杉谷、善峰寺の標識を見て登って行きます。左に美しい滝が見えてきました、滝を後にして歩を進めて行きます。しばらく行くと、右に石碑や墓石がたくさん置いてある所を進み、車道の出会い右へすぐにまた次の車道の出会い今度は左へ、後はしばらくのんびりした田園風景の中、栗を拾いながら進みます。農作業小屋の前で(13時46分)で小休止後、直進すれば善峰寺、小屋の裏手に右に廻り込むと、杉谷の標識がありました。田圃の畔道を進み、すぐに山道に入り頑張って登りきると尾根に出ました。ココまで来るとさすが下りて来る人に出会います。最後に少し登りになって道から右の台地上になった所を登るとポンポン山山頂に到着です。(678, 9m)(14時46分)標識やベンチも整備され広く展望もすばらしいです。今登って来た小塩山の電波塔が見えます。小休止後、写真に納まり下山開始です。東海自然歩道を下り原立石バス停にギリギリ(16時46分)のバスにグッドタイミングで乗り込むことができました。JR高槻駅(17時14分)一路大阪駅へ中橋さんと別れ4人で今日の反省会をして終了しました。リーダー有難うございました。メンバーの皆さん有難うございました。